

平成23年度「京商ECOサロン」

開催概要報告

第1回

企業価値を高める「新環境経営」とは？

～最新事例に学ぶ「褒められる」「愛される」エコ活動～



パネルディスカッションの様子



交流会で乾杯の挨拶をする
石田環境対策特別委員長

日時： 6月27日（月） 【セミナー】 15:00～17:00

【交流会】 17:10～18:00

参加者： 120名

内容：

第1部 事例発表 「“京都環境賞” 受賞者の取り組み」

（大賞） ㈱王将フードサービス

【新エネ機器を活用したエコ店舗や食品リサイクルの構築、地元企業との連携など】

（市民活動賞） 梅津まちづくり委員会 【地球環境を視野に入れたまちづくり活動】

（企業活動賞） ㈱村田堂 【KES 導入から始めた小さな会社の『環境経営』】

（環境ポイント賞） 立生㈱ 【地域社会や社員に発信するエコ活動】

（環境教育賞） 呉竹総合支援学校 【てんぷら油回収を促すエコマネー等】

第2部 パネルディスカッション「愛されるエコ企業を目指して」

パネラー ㈱王将フードサービス、立生㈱、㈱村田堂、出町商店街振興組合、
KES 環境機構、エコアクション 21

コーディネーター 三井住友銀行 法人企業統括部 環境・農業チーム
部長代理 藤崎 有美 氏

第2回

省エネ成功事例 勉強会

～20%以上の省エネで、数千万円のコストダウンを実現したノウハウに学ぶ～



省エネは現場の改善活動の一環だと話す吉住氏



参加者からは多くの質問が出された

日 時： 7月14日（木） 【セミナー】 15:00～17:00

【交流会】 17:10～18:00

参加者： 120名

内 容： 【第1部】 知恵を使った省エネのノウハウ

【第2部】 工場のエアーに関する省エネ

講 師： 塚越 隆啓 氏・吉住 貴司 氏

東京都地球温暖化防止活動推進センター 省エネ診断技術士専門職員

【説 明】 京都府中小企業節電対策支援事業補助金について

(京都府 商工労働観光部ものづくり振興課 副課長 藤田 一 氏)

京商で勉強会 「3割節電可能」

京都商工会議所は14区の京商で開き、専門制御機器大手の山武の藤沢工場神奈川県に「省エネ成功事例」管理して消費電力を減らさず手法を解説した。電力・省エネを実践

日、中小企業などを対象に「省エネ成功事例」勉強会を京都市中京区で開き、専門制御機器大手の山武の藤沢工場神奈川県に「省エネ成功事例」管理して消費電力を減らさず手法を解説した。電力・省エネを実践

二重窓や天井ファンなど空調での節電手法を学ぶ参加者ら
(京都市中京区・京都商工会議所)

し、現在は省エネコンサルタントの塚越隆啓氏と吉住貴司氏の2人が講師を務めた。空調や照明を工夫して同工場の消費電力を3年間で22%削減した。塚越氏は「まず電気や空気の量を測り、分析してから制御する」と説明。空調では2重窓や天井ファン、よすずで覆った空調室外機などの対策を挙げ、照明は各電灯ごとに心もで消灯できるよつにする方法を説明。「我慢せず、快適性に配慮す

れは従業員の協力が得られる」と説いた。吉住氏は工場で使われる空気圧縮機の省エネ法について「消費電力の3割は減らせる」と説明。一般に3割ほどある空気漏れの防止や設定圧の切り下げ、使用量の管理などの対策を説明し、企業担当者ら120人は熱心に聞き入っていた。

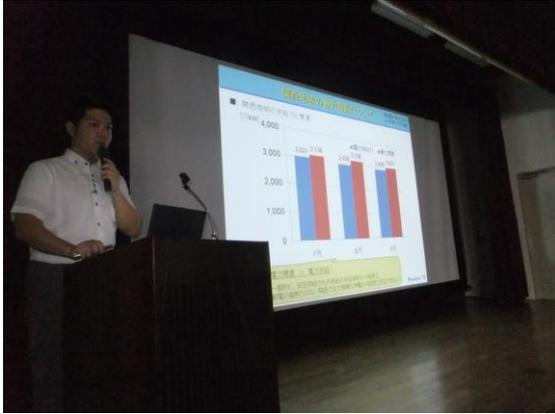
(後藤竜介)

京都新聞 8月15日 朝刊

第3回

＜緊急節電セミナー＞

空気のプロが教える節電術この夏を乗り切る「空調」の節電対策



今夏の厳しい電力事情と空調の節電の関係について話す原田氏



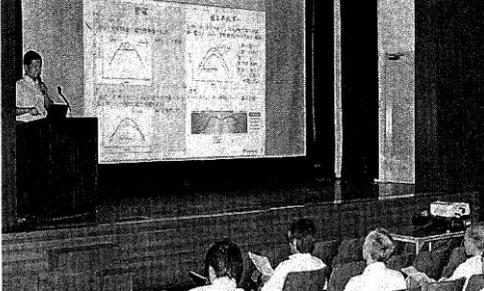
交流会では節電の方法などについて熱心に話す参加者の姿が見られた

日時： 7月20日（水） 【セミナー】 15:00~16:30
【情報交換会】 16:40~18:00

参加者： 80名

内容： 【第1部】 関西の電力需給について
【第2部】 空調（エアコン）の効果的な節電・省エネ対策
講師： 原田 真也 氏・太田 正治 氏
(ダイキン工業株式会社 節電コントロールセンター)

温度↓より風量↑ 効果的
京商がセミナー 空調の節電学ぶ



空調の節電策を学んだ緊急節電セミナー
(京都市中京区・京都商工会議所)

京都商工会議所は20日、空調に関する緊急節電セミナーを京都市中京区の京商で開いた。関西電力の節電要請を受けて開催し、企業関係者や市民らがエアコンメーカーの技術者から空調の仕組みや身近な節電策の要点を学んだ。

夏の日中ピーク時のエアコンの仕組みを解説した。

最大需要電力を一定値以下にする「デマンド制御」の手法や、屋根の遮熱塗装や窓の断熱性を高めるリフォーム策も紹介した。

(上野正俊)

空調の節電策を学んだ緊急節電セミナー
電力消費のうち、約50%が空調が占めるとされることが、ダイキン工業が社内設置した節電コントロールセンターの原田真也さん、太田正治さんの2人が講師を務めた。

逼迫する関西電力の今夏の電力需給や、エアコンの仕組みを解説した。

2週間に1度はフィルターを掃除すること、室外機や周辺に打ち水をするなど、設定温度を1度上げると家庭用では約10%の節電につながることも、取り組みやすい節電策を話した。体感温度を下げるには「設定温度を下げるより、風量を強める方が電気代がかからない」と助言した。

京都新聞 8月21日 朝刊

第4回

＜緊急節電セミナー＞節電のためのLED勉強会



LEDの特徴と性能の違いについて話す山中氏



交流会で展示されたLEDの実物を見入る参加者

日時： 8月5日（金） 【セミナー】 15:00~16:30
 【情報交換会】 16:45~17:30

参加者： 120名

内容： 「LEDを知って 賢く節電」

- 1.そもそもLEDとは
- 2.LED照明の特長
- 3.事例で見るLED照明の効果
- 4.LEDを賢く選ぶコツ

講師： ローム株式会社 モジュールライティング生産本部
 Lighting 製造部営業課 西日本営業G主事 山中 勝則 様

LED照明 選び方学ぶ
 中京 企業関係者ら節電で

京都商工会議所は5日、緊急節電セミナー「節電のためのLED勉強会」を京都市中京区の京商で開いた。メーカー担当者がLED（発光ダイオード）の仕組みや選び方、市場動向などを話した。ロームのモジュールライティング生産本部長の山中勝則主事が講演。企業関係者ら120人が参加した。

国内消費電力のうち、照明は16%を占めるとされる。山中さんは、省エネのため約4万時間の長寿命で低消費電力であるLED照明の需要が高まっていることを紹介。東日本大震災後の販売が急増し、5月の家電量販店の電球販売の42%を占めたと説明した。「LED照明は参入障壁が低く、照明についての知識のないメーカーや海外企業も参入している」と強調し、「安心

・安全な製品を選ぶことが必須で助言した。参加者からは、価格動向について質問があり、「11年度で急激に下がった。メーカーとしては限界に近い」との見方を示した。（上野正俊）

京都新聞 8月6日 朝刊

第5回

知っておきたい太陽光発電の基礎知識



電力の買取制度の設計によっては太陽光システムの爆発的な普及もありうるという講師の岩堀氏

日時： 10月5日（水） 【セミナー】 15:00～17:00
【交流会】 17:00～18:00

参加者： 104名

- 内容： 1. 東日本大震災と再生可能エネルギー ～震災の前後でステージが変わった!～
2. 太陽光発電システムの仕組みと長所・短所を知る
3. 補助金・買取制度と再生可能エネルギー法
4. これからの企業にとっての太陽光発電

第6回

事例で学ぶ「産業廃棄物の減量・リサイクル」勉強会 ゼロエミッションに取り組む企業



省エネは現場の改善活動の一環だと話す吉住氏



参加者からは多くの質問が出された

日時： 7月14日（木） 【セミナー】 15:00～17:00
【交流会】 17:10～18:00

参加者： 41名

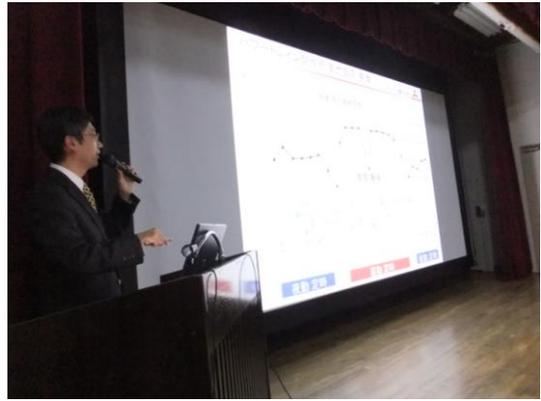
- 内容： 事例発表① 「食品リサイクルによる飼料化の取組」 株式会社 鼓月
事例発表② 「廃棄物の減量・リサイクルの取組」 日東精工株式会社
発表のまとめ 「廃棄物減量のポイントと支援施策」 京都府産業廃棄物減量・リサイクル支援センター

第8回

「冬の節電」勉強会
知っておきたい『冬の節電』



関西電力より電力需給や節電のポイント
についての詳しく説明を頂いた



事例紹介の3社より、自社の取組内容や
そこから得られたノウハウをお話し頂いた

日時： 12月21日（水） 15:00~17:00

参加者： 74名

内容： 説明 「冬季・電力需要と節電のポイント」

関西電力株式会社 京都支店 お客様室

事例紹介 「わが社の節電対応」

- ① イオンモール株式会社 イオンモールKYOTO
- ② 株式会社京都銀行
- ③ 三菱自動車工業株式会社 パワートレイン製作所

**冬の節電
対策学ぶ**

京商がセミナー

京都商工会議所は21日、冬の節電に関するセミナーを京都市中区の京商で開いた。関西電力京都支店の担当者が電力需給の状況や節電のポイントを紹介し、市内の3事業所が取り組みを発表した。関電担当者は照明や

空調、熱源設備などの特性を説明した。空調の室外機は外気の温度が上がれば暖房効率が良いが消費電力が減るとして「直射日光が当たるようスペースを確保するとよい」とした。3事業所の報告では、イオンモールKYOTO（南区）の担当者が、来店客は寒い屋外から入り上着姿で過ごすため「低めの室温設定が快適で、職員が

こまめに館内を歩いて肌で感じ調整している」と話した。京都銀行は室温19度の徹底や蛍光灯の25%間引きに加え、行員の家庭でも節電に取り組んでいることを紹介し、三菱自動車工業（右京区）は製造ラインの電気炉1炉を常時停止するなど対策を報告した。

（上野正俊）

京都新聞 12月22日 朝刊